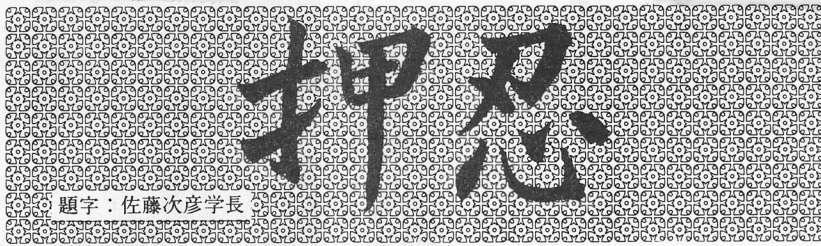


大阪工業大学 應援團 團報



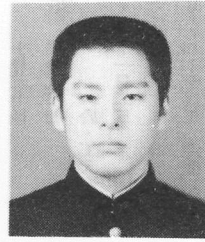
題字：佐藤次彦 学長

発行所 大阪工業大学 應援團 発行責任者 吉川 浩司 編集責任者 山本 重徳 大阪市旭区大宮5丁目16番1号 TEL (06) 952-3131

團報第二十二号



第二十五代團長挨拶



大阪工業大学 應援團 團長 吉川 浩司

新入生諸君、入学おめでとう。諸君は、厳しい受験戦争から開放された安堵感や大学生活に対する期待や不安が入り混じった複雑な気持ちでいる。大学の四年間は長いようで短い。そして、消極的であれば何一つ得ることはできない。ここで大学の目的を今一度

確認してほしい。大学といふところは、今迄の学生生活と違い、本人の自主性が大きなウェイトを占めてくる。例えば、別に講義に出席しなくても、誰からも怒られはしないし、二年次からは自分の好きな講義をとる事もできる。即ち、学生としての自由は認められている。その大切な四年間において、専門知識を身につける事は当然であるが、と同時に自分自身を分析し、自己の人格形成をするよい機会でもある。まず、その為の方法としてクラブ活動を勧めたい。クラブ活動をする事によって、先輩、後輩の関係ができていく。

大学歌

竹友 藤風 作詞 信時 潔 作曲

産業の意図にこそましく 都の力あつて

築き上げたる大工学を 仰げ雲霧晴れわたる

生駒の山の空高く

二 新生の道はひらけ行く

国土の命はなびりて

初玉はゆたけりて

歌之広野に大淀の

堤をあらう水清し



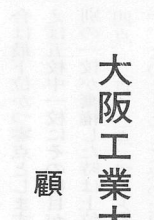
そして、先輩からの経験豊かな話がきけたり、一語に先輩と飲みに行ったりなど高校時代には味わうことができなかった体験ができるはずだ。とにかくこの大学生活の間に縦と横の人間関係を大きく広げて豊かな学生生活、ひいては将来の実りある人生の糧としてほしいものである。大学生活を有意義にするには、諸君の過ごし方次第なのである。ただ漠然と講義に出席するだけでなく、積極的に種々の時間を持たれるよう願う。我が大阪工業大学 應援團は、常日頃より大学の各行事や文化会、体育会への幅広い応援支援活動を行ない、全学生の志気を鼓舞激励し、母校発展の為精進を重ねている。我々の活動の一部を紹介してみると、入学式・卒業式等の参加、体育会系クラブの演奏会・発表会、文化会系クラブの演奏会・発表会等の鑑賞、秋の学園祭期間中に行なわれるヒアパーティー・演武祭の主催、素人日本拳法大会・ボクシング大会の後援・参加を主とし、その他枚挙に暇がない。つまり、我々は全学生と一致団結し、工大の名のもとに行われるあらゆる行事の成功を目標として活動している。我々を支えているものは、強い母校愛であり、母校を発展させる為に日々厳しい稽古に励み、体力、精神力を養っている。我々には、勝利のトロフィーも賞状もないが、母校発展の為、行事が大成功を取った時や、体育会系クラブが勝利を勝ち取った時は、何よりの喜びである。

新入生諸君、入学おめでとう。授業が始って一ヶ月半、そろそろ大学の生活に慣れて来たことと思います。これからの四年間、長い様でも、うかうかしてるとおつという間に過ぎて終ります。諸君の今後の生活に資するため、思うところの若干を記しましょう。私達教師は、諸君が社会に出た場合、大人として職業を持つて生活できる様、そのために必要な諸君の事を諸君に伝えるのが仕事であります。我々の大学は工科大から、諸君の職業はその大部分が工学関係の仕事ということになるでしょう。工学関係の仕事は、文科系の仕事と異なり、自然科学に基礎を置いていて、量的に厳密な因果関係の上に成立しています。だから、その理解と適用のためにどうしても数学的な取扱が必要



今さらいうまでもなく、大学は学問を研究し教育をする場であることは、一般常識である。しかし、大学が増えて多様化し学生が増加するにつれて、大学の多様化がすすみ、学生の意識も多様化した。入学式がすすんで一ヶ月ばかりの間、キャンパスに繰り広げられるクラブ活動の勧誘風景や、秋の祭典等での出店風景は、そのことを端的に物語っている。新入生は大学に何をめざし進学し、卒業後の人生の目標をどこに置いているのであろうか。大学に進学してからの調査と反応数の多いものから挙げれば、〈専門型〉 将来のための専門的知識や技術を習得する。〈教養型〉 教養や視野を広げる。〈娯楽型〉 クラブ活動やレジャーなど学生

となり、順序を追い段階を踏んで習得してゆかねばなりません。工科大の大学が、文科系のものに比べて大変忙しいゆえです。しかし一方で、大人として送り出された諸君は、全ての面で自分の責任で多くの事を決定し遂行しなければならぬ立場に立たされます。自分の生活を自分で律することが大人として生活する必要条件です。従って、大学四年間は、工学の習得と同時に生活を自律できるための訓練の期間であると言えます。大学は高校程に出席を強制しません。出欠が自由であるのは、諸君の自分自身に対する責任の自覚を期待し、他者からの強制による生活のリズムでなく、諸君自身の自分の方法による生活のリズムを確立することを望むからです。



大阪工業大学 應援團 顧問 梶川 友義 自由な時間を持つことが自律のために必要ですが、ここで一つ諸君に勧めたいのはこの時間を利用して大いに本を読んで欲しいということです。個人の体験は一生を通じても限られています。限られた体験から周囲を眺める場合、どうしても見方が一面的になってしまいます。多くの人と交わり生活してゆくには、物事を一面でしか捉えられないと衝突することが多くなります。他の人の立場を理解して始めて協力が可能になり物事がスムーズに進みます。他の人の立場を理解するには限られた個人的体験を補う想像力を養っていかねばなりません。想像力を養い他の人の意見を聴く、その最良の方法は読書です。この大学生活の間にできるだけ本を読んで頂くことを願って終ります。

焼肉 やよい TEL951-3423

TEA ROOM まるぐりっと PHONE (954)9478

日替り「おめん定食」 お好み焼他 おめん (小宴会に持ってこいの店) 営業時間：午後6時～午前2時迄 中宮4丁目 高速道路下 TEL954-6477

喫茶・軽食 ルーブル COFFEE 旭区中宮5-6 Louvre (大阪工大生協前) TEL.951-2220

定食の店 善味 テレホンカード有ります

木のかおりのコーヒーハウス TOGETSU 工大東門通り 大阪市旭区中宮5丁目5-18 TEL06-953-7613 8:00AM~10:00PM

御食事後 ブレンドコーヒーサービス グリル ぎゅうたけ 中宮バス停 定休日 木曜日

仔馬 1F 喫茶・軽食 TEL954-5556 =喫茶オールナイト営業= 2F 麻雀 オール自動 TEL954-9328



春合宿を終えて

総務部より

我々大阪工業大学応援団一行は、この春、六十周年記念館に於いて春合宿を行なった。少人数の合宿ではあったが、全員一致団結し無事終える事ができた。

の身につくものと言えは、やはり忍耐及び根性ではないだろうか。例え、どんな苦境に立たされてもそれを乗り越えるだけの精神力が必要とされている時代に、それを身につけようというのである。

今回の合宿で、まだまだ稽古なりの努力がなければならぬ事はたくさんあったが、そういった事に団員一人一人が自覚し、少しでも進歩が見られるように心がけねばなるまい。

大阪工業大学と大阪経済大学の間でスポーツを競いあう中で大学間の交流を深め、スポーツ精神を養い、互いに成長・発展することを目的として第一回大会が行なわれました。

この大会は東京オリンピックの行なわれなかった昭和三十三年に大阪工業大学と大阪経済大学の間で交流を深め、スポーツ精神を養い、互いに成長・発展することを目的として第一回大会が行なわれました。

大阪工業大学と大阪経済大学の間で交流を深め、スポーツ精神を養い、互いに成長・発展することを目的として第一回大会が行なわれました。

大阪工業大学と大阪経済大学の間で交流を深め、スポーツ精神を養い、互いに成長・発展することを目的として第一回大会が行なわれました。

大阪工業大学と大阪経済大学の間で交流を深め、スポーツ精神を養い、互いに成長・発展することを目的として第一回大会が行なわれました。

活動結果報告

(昨年度後期から)

十月九日 第二十二回音楽祭鑑賞 (於・森ノ宮青少年会館) 十月十日 空手道部応援 第二十九回関西学生空手道選手権大会 (於・東淀川市民体育館)

十月十一日 第二十四回学内対抗レガッタ参加 十月十二日 日本拳法部応援 日本拳法龍峰杯優勝大会 (於・北千里市民体育館)

十月十三日 硬式野球部応援 秋季近畿大学野球一部リーグ戦 (於・住ノ江球場) 十月十四日 対 神商大 勝利

十月十五日 対 奈教大 勝利 十月十六日 対 勝利 十月十八日 幹部交代式 (於・新北京) 十一月二十五日

十一月二十六日 硬式野球部応援 秋季近畿大学野球一部リーグ戦 (於・日生球場) 十一月二十日 対 府大 勝利

十一月二十一日 硬式野球部応援 秋季近畿大学野球一部リーグ戦 (於・日生球場) 十一月二十二日 対 奈産大 勝利

十一月二十三日 硬式野球部応援 秋季近畿大学野球一部リーグ戦 (於・日生球場) 十一月二十四日 対 勝利

十一月二十五日 硬式野球部応援 秋季近畿大学野球一部リーグ戦 (於・日生球場) 十一月二十六日 対 勝利

十一月二十七日 硬式野球部応援 秋季近畿大学野球一部リーグ戦 (於・日生球場) 十一月二十八日 対 勝利

十一月二十九日 硬式野球部応援 秋季近畿大学野球一部リーグ戦 (於・日生球場) 十一月三十日 対 勝利

一年をふり返って

二回生 荒川直樹

自分が工大に入塾して、四月、五月とクラブに入らずにたいくつな日々を過ごしていた時、応援団に勧誘を受けた。それから、六月中旬に応援団に入団した。初めの頃は、はたして自分が応援団をやっているのか、稽古にはついていけるのだろうか、という不安な不安な日々が続いた。

五月二十三日 淀都五大学総合定期戦開会式 (於・工大総合体育館) 五月二十四日 硬式野球部 対 経大

五月二十五日 硬式野球部 対 桃大 五月二十六日 硬式野球部 対 産大

五月二十七日 硬式野球部 対 産大 五月二十八日 硬式野球部 対 桃大

五月二十九日 硬式野球部 対 産大 五月三十日 硬式野球部 対 桃大

淀都五大学総合定期戦にご声援を

大阪工業大学体育会

本部長 南村眞行

我々が大阪工業大学体育会は現在「第二十四回淀都五大学総合定期戦」に向けて準備を行なっています。これは通称「淀都戦」といいます。

大阪工業大学と大阪経済大学の間で交流を深め、スポーツ精神を養い、互いに成長・発展することを目的として第一回大会が行なわれました。

大阪工業大学と大阪経済大学の間で交流を深め、スポーツ精神を養い、互いに成長・発展することを目的として第一回大会が行なわれました。

大阪工業大学と大阪経済大学の間で交流を深め、スポーツ精神を養い、互いに成長・発展することを目的として第一回大会が行なわれました。

大阪工業大学と大阪経済大学の間で交流を深め、スポーツ精神を養い、互いに成長・発展することを目的として第一回大会が行なわれました。

五月二十四日 硬式野球部 対 経大 五月二十五日 硬式野球部 対 桃大

五月二十六日 硬式野球部 対 産大 五月二十七日 硬式野球部 対 桃大

五月二十八日 硬式野球部 対 産大 五月二十九日 硬式野球部 対 桃大

五月三十日 硬式野球部 対 産大 六月一日 硬式野球部 対 桃大

六月二日 硬式野球部 対 産大 六月三日 硬式野球部 対 桃大

募集!! 応援団本部員 詳細は、応援団本部員又は 團室(部室センター迄) 大阪工業大学応援團

淀都戦日程 五月二十三日 淀都五大学総合定期戦開会式 (於・工大総合体育館) 五月二十四日 硬式野球部 対 経大

幸寿司 TEL 954-9306 大丸会館 パチンコ アレパチ パチスロ 新装開店 大工大生のアイドル 2分間証明写真 野口フォトサービス